

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンロイヤルホテル	階数	地上7F
建設地	南丹都市計画事業亀岡駅北土地区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、集会所、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年7月25日
敷地面積	1,718㎡	作成者	川又 祐一
建築面積	667㎡	確認日	2019年7月26日
延床面積	3,505㎡	確認者	川又 祐一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 82%
 ③上記+②以外の 82%
 ④上記+ 82%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	省エネルギー性を高め、温熱環境負荷の低減を図る。	特になし
Q1 室内環境	特になし	設備各種配管は耐用年数の高い材質を採用する。
Q2 サービス性能	特になし	駐車スペースの緑化ブロックで、緑の量の向上を図る。
LR1 エネルギー	省エネルギー基準をクリアする省エネ設備を採用する。	省エネルギー基準クリアを目指した断熱性能、設備省エネ性能とすることで、CO ₂ 低減を図る。
LR2 資源・マテリアル	特になし	
LR3 敷地外環境		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される